

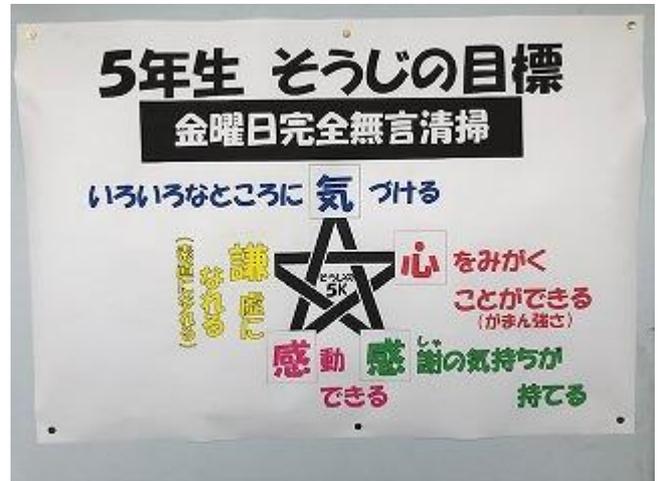


校長の目 ～西小日々通信～

令和4年8月26日（金）



「時を守り、場を清め、礼を正^つくす」、これは哲学者であり教育学者であった森信三氏の言葉です。森氏は、明治時代に生まれ、平成4年にお亡くなりになりました。氏のこの言葉は、日本人の精神性・道徳性を培う上で教育界のみならず、多方面で用いられています。本校では、清掃時に私語が多く、清掃が徹底されていないことが課題です。この夏休みに教職員全員で課題解決に向けた取り組みについて話し合いを行いました。これまでも無言清掃・黙働を指導してきましたのですが、ここでもう一度、子供たちの発達段階に応じて清掃の意義等を伝え、清掃活動の充実を図っていきます。画像は、5年生の取り組みで、廊下に掲示されています。



小学生が一番最初に学ぶ漢字は何でしょう？ 正解は、「木」です。1年生は、2学期から漢字の学習が始まります。今日は、国語の時間に初めての漢字「木」を学習しました。漢字の形、書き順、成り立ちなどを確認し、先生と一緒にそら書きしてから、ドリルに書き込みます。みんな一言もしゃべらず、集中して書くことができました。

1年生が学ぶ漢字は、80字です。ものの形に由来する字が多く、へんやつくりにもなる字であり、漢字の基礎といえるでしょう。2年生以降は、1年生で学んだ漢字を組み合わせで作られている漢字もあるため、しっかり覚えて使えるようになることが大切です。

ちなみに、1年生で学ぶ漢字でもっとも画数が多い漢字は12画あります。なんの漢字かという、「森」です。「木」を三つ組み合わせで作られた漢字なので、成り立ちもわかりやすく、覚えやすい漢字ですね。



9月8日には、子供たちが楽しみにしている西小まつりが開かれます。廊下には、西小まつりのめあてや各たてわり班の店のポスターが飾られています。今年のめあては、「みんなで楽しめるように たてわりはんで お店を工夫し 協力しよう」です。新型コロナウイルスの感染拡大が心配されるところですが、みんなで感染予防に気を付けながら、当日に向けて準備を進めていきます。

